

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容
事業者名	会社名：D-matcha 株式会社 代表者職名・氏名：代表取締役 田中大貴
補助事業テーマ	世界中の日本茶プロ向けの Tea Business School
事業実施期間	令和2年10月12日 ～ 令和3年2月28日
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本茶を評価する世界的な基準を日英両言語で作成する 2. 上記を世界中のお茶ビジネスを営む人経由で正しく伝えていく 3. コロナ禍を鑑み、人数を絞った滞在型のスクールの整備とオンラインでの提供可能テーマを明確にする
事業の実績(成果)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 和東町で日本茶の栽培、加工、販売を国内外に行っている強みを活かし、バイリンガルで日本茶インストラクターを持つ代表者と英語を母国語とし、農業に従事する外国人スタッフで100Pにも亘るテキストブックを執筆 2. 各世界のマーケットに対する実践的な浸透を狙い、特にお茶のビジネスに関わるプロフェッショナルを対象にしたお茶のスクールのプログラムを設計。プログラム内容を魅力的に伝えるべく、世界に500万人以上の定期視聴者を抱える著名 youtuber に動画作成を依頼して完成させた。当該動画を参加対象者にみせ、評価を受けることでプログラム内容のさらなる改善と参加可能性の有無を顕在化させた。D-matcha のグローバルサイトにプログラム内容を掲載した結果、コロナ禍にも関わらず、収束後参加したいという応募が2021年2月20日現在5件以上きている。 3. D-matcha が経営する茶園の近郊にある空き家を改装し、滞在することができ、かつお茶の実践的なワークショップを行うことができる会場を整備。また、オンラインでの試験的な通信講座を行い、参加者のニーズやオンラインでも学びたい内容、時間、金額などを明確化した
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ● ニーズの高かったお茶の淹れ方や抹茶を使った料理教室などのオンラインプログラムを開始 ● 海外からの入国が可能になり次第オンサイトでのビジネススクールを開催 ● 上記に加え、テキストブックの販売と一部内容の無料提供により、世界のプロフェッショナルにお茶を品質を見極める能力を付けてもらい、高品質である京都産の宇治茶が世界の日本茶最高峰と認知され、発展していくことに寄与していきたいと考えている